定例教育委員会【議事録】

日 時 令和6年3月8日(金)
9時30分～

場 所 岡谷市役所6階 605会議室

署名委員 太田教育長職務代理者 林教育委員

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 岡谷市スポーツ推進委員の委嘱について【資料 No.1】 (非公開) (スポーツ振興課)
2. 岡谷市子ども総合相談センター設置要綱の一部改正について【資料 No.2】 (教育総務課)
3. 岡谷市史編さんの今後の方向性について【資料 No.3】 (生涯学習課)
4. 岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則等の一部改正について【資料 No.4】
(教育総務課)
5. 岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則の一部改正について
【資料 No.5】 (教育総務課)
6. 岡谷市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の
一部改正について【資料 No.6】 (教育総務課)
7. 市立岡谷図書館条例施行規則の一部改正について【資料 No.7】 (生涯学習課)
8. 岡谷市学童クラブ安全計画(案)について【資料 No.8】 (教育総務課)

○ 報 告

1. 旧渡辺家住宅茅葺屋根等修繕工事に伴う休館について【資料 No.9】 (生涯学習課)

○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎、教育委員 轟 美緒

事務局(説明員)

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 伊藤 恵、スポーツ振興課長 小松 隆広、市史編さん準備室長 小池 秀昭、
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 罍、
子ども総合相談センター主幹 長谷川 智康、図書館主幹 増沢 洋子、
美術考古館文化財主幹 霜鳥 哲也、川岸学園設立準備室川岸学園設立準備主幹 新村 尚志、
教育総務課主任 大島 俊輔

<会議録>

○開 会

宮坂教育長： それでは、ただいまより令和6年3月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は太田教育長職務代理者と林教育委員にお願いいたします。

○教育長報告

宮坂教育長： はじめに私から報告をします。

この時期の花と言えば、皆様はどの花を思い浮かべますでしょうか。私は福寿草です。名前のおり、福と寿を呼んでくる花です。我が家の庭では2月27日に開花をしました。例年より半月ほど早い開花でした。その後何度か雪が降っていますが、やはり自然の花は強いと感じました。いち早く自分の周りの雪を溶かし、黄色い花を咲かせ続けています。福寿草の花は、最初はあまり背が伸びず、短い茎の上に花が咲き、次第に茎や葉が成長をします。力強く咲く様子は私も見習いたいと思います。

次に子どもたちの姿から報告いたします。

2月13日に文部科学大臣賞を受賞した長地小学校の八並さんの研究に表彰が行われました。詳細については以前の教育長報告で既にお伝えしておりますので割愛させていただきます。

続きまして学校給食の風景からです。4年生の教室で給食委員を中心に、食べるのが遅い友達もお昼休みに一緒に遊ぶにはどうすれば良いか考えておりました。考えた結果、会話タイムと無言タイムを設けることになりました。子どもたちが自主的にこういった活動を行っているので、給食の準備の手際が良く、目を見張るものでした。何よりも、子どもたちが良い顔で給食を食べている姿が印象に残りました。

2月23日に第56回書初め大賞表彰式がありました。諏訪地区、上伊那地区で2,206点の応募がありました。最後に受賞者を代表して高校2年生2名がお礼の挨拶をしました。1人は「小学校3年生から書道をしている。途中でやめようと思ったこともあるが、表彰をもらって書道を続けている。」と話していました。もう1人は「小学校1年生から書道を続けている。高校生になってからは古典（顔真卿）が好きで書いている。持てる力を出し切ることができる魅力が書道にはある。」と挨拶をしておりました。子どもたちが各所で成長をしていると感じました。

生涯学習課からは、美術考古館で開催されている「アーティスト育成展」、「東高展」「林清登切手コレクション展」について報告させていただきます。

はじめにアーティスト育成展であります。3月24日（日）まで、茅野市出身の小島広大さんの「色彩躍動 小島広大展」を開催しております。

宮坂教育長：

アーティスト育成事業は、長野県にゆかりがあり、また、将来性のある作家に作品発表の場を提供し、地元での認知や飛躍につなげることを目的に平成30年度から取り組んでおります。今年度は5名の応募があり、選考により小島さんを採択いたしました。小島さんは庭師の傍ら、ボート競技にも打ち込み、アート作品も制作するなど多才に活躍されておられます。作品への願いや、自分のコンセプトについて語る姿を見て、これからの日本を背負う若者の逞しさを感じました。育成事業の素晴らしさも感じました。明日3月9日（土）には、ご本人から作品への想いや制作過程等をお話いただく「アーティストトーク」を開催いたします。今後も引き続き、長野県にゆかりのあるアーティストの支援や応援に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、岡谷東高校の書道部、写真部、美術部の皆さんによる合同作品展「東高展」についてであります。3月15日（金）まで開催されております。こちらにも素晴らしい作品が展示されていますので是非ご覧ください。

「林清登切手コレクション展」につきましては、チラシを配布させていただきましたが、5月12日（日）まで開催しております。

平成6年に寄贈いただきました1,900点を超える切手のコレクションは、1871年から1989年の間に発行された日本、中国、韓国の切手で、前半・後半の2回に分けて展示いたします。

皆さんもこの機会に美術考古館へ足を運んでいただければ幸いです。

最後にスポーツ振興課関連で報告させていただきます。

岡谷市スポーツ協会の新規事業であります「スポーツ体験発表会」が、2月17日に生涯学習館で行われました。この体験発表会は、スポーツ活動を通じて得たことや学んだこと、みんなに知らせたいことなどを発表し、その体験を共有することで、スポーツ活動の充実と競技力向上を図ることを目的にしたものであります。

当日は、小学生から一般までの6名の発表者が登壇し、身をもって体験した発表に、約60名の聴講者は、熱心に耳を傾けておりました。私も出席をさせていただきましたが、発表内容のなかに「自分で決めた目標や課題に対する取り組み」、「共に喜べる仲間の存在」、「あきらめない心」などの話があり、それぞれの輝いている活動に聞き入ってしまいました。

今回の体験発表会は、みんなで共感し、思いを膨らめ、スポーツの魅力を伝える大変貴重な機会であったと思います。

来年も素晴らしい発表会となりますよう心より期待しているところで

宮坂教育長： あります。
私からの報告は以上であります。

○成長樹（期）子育て実践ポイントについて

宮坂教育長： 議事に入る前に令和4年度に改訂を行った「成長樹（期）子育て実践ポイント」につきまして、社会教育委員の会議にて活用方法の検討をしていただきました。本日は正副会長さんが活用をお願いをしたいと、お越しになっておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

小池会長： 皆様、おはようございます。岡谷市社会教育委員会長の小池と申します。本日は、貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年度、社会教育委員の会議では、昨年度作成した「成長樹（期）子育て実践ポイントの活用について」を検討してまいりました。どうすればより多くの皆さんに「成長樹（期）子育て実践ポイント」を見ていただけるか、委員それぞれの立場から、様々な意見・提案を出していただきました。

活動内容及び成果については、配布いたしました資料にまとめてありますが、その中から、「子どもや若い方が集まるような施設にポスターを掲示する」と「コマーシャルを作成して、岡谷市のYouTube公式チャンネル等で配信する」の2点について、この場でお披露目させていただきたいと思っております。ポスターですが、成長樹（期）子育て実践ポイントの表紙をベースに、QRコードを入れて作成しました。

また、これからご覧いただくコマーシャルには、社会教育委員 全員が出演しております。どうぞよろしくお願い致します。

《コマーシャル閲覧》

橋爪副会長： ポスターにつきましては、市内の各保育園・幼稚園、小中学校、各区の公会所等、カルチャーセンター、こどものくに、公民館、図書館などの公共施設等、市民の皆さんの目につく場所に掲示してまいりたいと考えております。また、コマーシャルにつきましては、3月16日から、シルキーチャンネルとYouTubeの岡谷市公式チャンネルにて配信してまいりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

なお、今回ご覧いただいたコマーシャルは約4分間のロングバージョンですが、ショートバージョンも現在編集していただいているところであります。

今後も「成長樹（期）子育て実践ポイント」の周知に努めるとともに、多くの方に活用いただけるよう、引き続き、検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

太田教育長職務代理者： 個人的に、とても好きな内容でした。それぞれのご家庭で子育てをする

太田教育長職務代理者： なかで、地域全体でも子育てを支えたいという委員さんのお気持ちがよく分かる内容だったと思います。我々もこの冊子につきまして、機会を見つけてPRしていきますのでよろしくお願い致します。

林教育委員： 非常に見やすいコマーシャルになっていると思います。ぜひ広く周知していただき、今子育てをしている方に役立てていただきたいと思います。

轟教育委員： クスッと笑える箇所もあり、とても良かったと思います。待合室等でループ再生されているCMもあるので、そういった放送の方法も有りかと思いました。

小平教育委員： とても心温まるコマーシャルでした。起承転結がしっかりとありました。祖父母の世代でも活用ができる内容でしたので、若い夫婦とのコミュニケーションのきっかけにもなると思います。広告をせっかく作っても、なかなか子育て世代に浸透しないことが課題だと思いますが、上手にまとめていただいたので見る方も楽しい内容になっていると思います。ありがとうございました。

宮坂教育長： このコマーシャルを見させていただくのは2回目ですが、感動いたしました。社会教育委員の皆様の願いと心がよく伝わる内容だと思います。ありがとうございました。

それでは本日の議題に入ります。

○議 題

1. 岡谷市スポーツ推進委員の委嘱について（非公開）

宮坂教育長： 議題1につきましては人事に関わる内容になりますので非公開とさせていただきます、後ほど議論をしたいと思いますですがよろしいでしょうか。

（異議無し）

それでは議題2「岡谷市子ども総合相談センター設置要綱の一部改正について」を事務局から説明をお願いします。

2. 岡谷市子ども総合相談センター設置要綱の一部改正について

<資料2に基づき、事務局より説明>

轟教育委員： 資料を見させていただき、改正後の内容は非常に分かりやすくなったと思います。改正前は抽象的な部分もあり、具体的に何を相談できるかが分かりにくかった箇所がありましたので良い改正だと思います。

小平教育委員： 以前の定例教育委員会で質問をした際に、その内容は子ども課の担当である、というご回答をいただいたことがありましたので、教育総務課の子ども総合相談センターと子ども課の連携強化は大切です。子育てについて

小平教育委員： 相談したい時に、幼児期から同じ窓口で相談できることはとても大切なことだと思います。

太田教育長職務代理人： 今回の方向性は大賛成です。ご説明していただいた改正を進めていただきたいと思います。改めて確認をしたいのですが、支援をする中で業務の分担は、まだまだ公的に所管が分かれることがあると思います。活用していただく市民の皆様からすれば、役所内で連携、協力をしてもらうことはとても重要な事項です。ぜひ市役所の皆さんでこの課題を乗り越えていただきたいと思います。また、本件についても、しっかりと市民の皆様へ周知がされているか、どれだけ活用されるかが大事なところだと思います。相談が増えれば増えるほど、意義のある部署になると思います。先ほど話があった成長樹（期）子育て実践ポイントも上手に活用しながら、市民の皆様へ相談センターがあることを周知してほしいと思います。

宮坂教育長： ありがとうございます。それでは「岡谷市子ども総合相談センター設置要綱の一部改正」を教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

事務局から説明のあったように、新年度より新しい相談支援体制を整備し、子育て世代への更なる支援体制の充実を図りますので、よろしく願います。

続いて議題3「岡谷市史編さんの今後の方向性について」を事務局より説明をお願いします。

3. 岡谷市史編さんの今後の方向性について

<資料3に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理人： 今朝も新聞で『覧古考新』について取り上げられている記事を見ました。読んでみますと、過去を振り返ることで岡谷市の未来を作っていくことに繋がるという表記がありました。ぜひしっかりと編さんを進めていただきたいと思いました。

今後のスケジュールにつきまして、業者に委託していくのは執筆編集及び印刷製本業務とありますが、デジタル化という業務は市で進めるという認識でよろしいでしょうか。またデジタル化の作業とは具体的にどのような内容になるのでしょうか。

事務局（小池）： デジタル化につきましては業者委託をする部分もあります。写真のネガをデジタル化することは我々では難しいですが、例えば文章のPDF化等

- 事務局(小池)：** の自分たちでもできることは市で進めたいと思っております。
- 太田教育長職務代理人：** 委託の費用等につきまして、現時点で確定ではないですが、7年間で1億3千万円という金額は、率直に申し上げると高額だと感じました。もちろん大変な作業であり、7年間という長期間で積み上げられた委託料なので、理解できないわけではありませんが、50年間の市史編さんに1億3千万円かかるのは、理解を得るのが難しい部分もあると思います。これから精査を進めていただく中で、シビアに見ていただき、素晴らしい市史にしていきたいと思っております。
- 事務局(小池)：** 事業費につきましては、我々の人件費等も含まれております。業者に委託せず、自分たちで市史を作成する場合、およそ3億円かかる試算です。委託によってこの金額に抑えることができます。
- 太田教育長職務代理人：** 岡谷市の未来につながる大切な事業だと思いますので、市民の皆さんにも、しっかりと理解をしてもらえる説明をお願いしたいと思います。
- 林教育委員：** 完成まで非常に長い期間が必要な事業だと思います。個人的には業者委託は賛成ですが、選定の中で業者が持っているノウハウも含めて精査を進めていただきたいと思っております。完成した時に、幅広い世代に見てもらえる内容にするために、作成に当たって様々な世代や業界の人に見ていただくことも大切だと思います。
- 小平教育委員：** 今までの岡谷の歴史を、特に若い世代にも知ってもらいたいと思っております。デジタル化ができていれば、遠くの方も見ることでよいと思っております。
- 市民も含まれる市史編さんの委員会ですが、こちらは何名くらいの組織になるのでしょうか。
- 事務局(小池)：** 現時点では10名程度の委員会を想定しています。
- 轟教育委員：** 民間への委託につきまして、委託の有無で大きく金額が変わるとのことでしたが、大きく金額が変わる要因は何なのでしょう。
- 事務局(伊藤)：** 1番は人件費です。業者に委託すれば専門的に執筆している方が1人で書くこととなります。そうすれば文言も統一がされます。委託をしないで作成となると様々な方に執筆をお願いする形になりますので、それぞれの方への委託料もかかりますし、全ての文章を確認し、文言を統一するためにも人件費が必要です。
- 委託をしている市としていない市を視察しましたが、やはり業者委託をした方が、効率的に、より良いものを作ることができるということで、業者への委託を考えています。
- 轟教育委員：** 業者を使うことでより費用がかかるというイメージがあったのですが、

轟教育委員： そうではないことが分かりました。

宮坂教育長： 他に質問等ございますか。それでは「岡谷市史編さんの今後の方向性について」は説明のあった内容により進めていきたいと考えておりますのでご了承ください。令和6年度から市史編さんの業務が始まっております。教育委員さんのお力をお借りすることも今後あると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、議題4「岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則等の一部改正について」を、事務局より説明をお願いします。

4. 岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則等の一部改正について

<資料4に基づき、事務局より説明>

宮坂教育長： 質問等ありますでしょうか。

《質問無し》

それでは「岡谷市教育委員会事務局等の組織に関する規則等の一部改正」を教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

続いて議題5「岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則の一部改正について」を、事務局より説明をお願いします。

5. 岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則の一部改正について

<資料5に基づき、事務局より説明>

宮坂教育長： それでは「岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則の一部改正」につきまして、教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

ありがとうございました。続いて議題6「岡谷市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正」を、事務局より説明をお願いします。

6. 岡谷市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正について

<資料6に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理者： 資料にある処分とはどのような業務が該当するのでしょうか。

事務局(両角)： 例えば提出された申請書に対して決定通知を出したりすることも処分です。何かの判断、決定をすることを広く処分と言います。ICTを使った行政処分に関する規則の一部改正になります。補足ですが、例規でICTという言葉はすべて漢字になってしまいます。

ICTに関する規則は、教育委員会の機関ごとに持っていたのですが、今回は市の規則と一本化して共通化を図る内容になっています。

宮坂教育長： それでは「岡谷市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正」につきまして、教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

続いて議題7「市立岡谷図書館条例施行規則の一部改正について」を、事務局より説明をお願いします。

7. 市立岡谷図書館条例施行規則の一部改正について

<資料7に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理者： 開館時間の変更につきまして、私は賛成です。図書館の開館時間も特色の一つであり、どのような図書館を目指していくかに関わる部分だと思います。より良い図書館を目指して柔軟に対応をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

轟教育委員： データを見ると、開館時間の変更は妥当だと思います。入館者数のデータがありますが、カウント方法はどのようにしているのでしょうか。本を借りた人の数でしょうか。実は2月に図書館に行って、1時間ほど過ごしました。本は借りませんでしたが、私は入館者数としてカウントされているのでしょうか。

事務局(増沢)： 入り口近くの受付に職員が常駐していますので、来館者への声かけのタイミングに手動でカウントしています。

宮坂教育長： それでは「市立岡谷図書館条例施行規則の一部改正」につきまして、教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

ありがとうございました。改正後もより使いやすい図書館を目指してまいりますのでよろしくお願いします。

続いて議題8「岡谷市学童クラブ安全計画（案）について」を、事務局より説明をお願いします。

8. 岡谷市学童クラブ安全計画（案）について

<資料8に基づき、事務局より説明>

林教育委員： 職員も児童も、学校の教室では避難訓練をやったことがあっても、学童クラブで避難訓練の経験は無いと思います。学童クラブでの避難訓練実施も検討していただきたいと思います。

太田教育長職務代理人： 安全計画の作成が義務付けられて、計画（案）を出していただいている訳ですが、来年以降も毎年作っていくのでしょうか。

事務局(味澤)： 実際に安全計画を進める中で、必要があれば変更修正をしてみたいと思っております。

宮坂教育長： それでは「岡谷市学童クラブ安全計画（案）」を、教育委員会として承認したいと思いますよろしいでしょうか。

《承認》

ありがとうございました。それでは（案）の文字を消してください。学童クラブの安全確保を図るため、この計画に基づいた対応を進めてまいります。

続いて、報告事項に入ります。報告事項1「旧渡辺家住宅茅葺屋根等修繕工事に伴う休館について」を事務局より説明をお願いします。

○報告事項

1. 旧渡辺家住宅茅葺屋根等修繕工事に伴う休館について

<資料9に基づき、事務局より説明>

小平教育委員： 旧渡辺家の利用者数はどのくらいですか。

事務局(霜鳥)： 令和5年度は、約200名です。

小平教育委員： 大変貴重な建物だと思いますので、大切に管理していただきたいと思えます。

太田教育長職務代理人： 今回、県の補助金を活用されるということで、大変ありがたいお話だと思います。ちなみにどのくらいの補助が出るのでしょうか。

事務局(霜鳥)： 県の予算の範囲内で、工事費の3分の1以下となっております。こちらから申請している補助額は約1,100万円です。内示はこれからです。

宮坂教育長： ありがとうございました。

それでは、次に「その他」につきまして、事務局よりお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

〈各課より行事予定について説明〉

宮坂教育長： ありがとうございます。
 その他連絡事項等ありますでしょうか。
 今までのところで何かご意見等はございますか。

宮坂教育長： 本日予定しました議題は以上ですが、全体を通して何か質問等ござい
 ますか。
 教育委員さんから何か報告事項等ございますか。
 それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は
 4月12日（金）15時00分から岡谷市役所2階202会議室を予定しています。
 よろしくお願いいたします。

宮坂教育長： ありがとうございます。
 続きまして非公開の議題に進みます。

○議題（非公開）

1. 「岡谷市スポーツ推進委員の委嘱について」

〈資料1に基づき、事務局より説明〉

宮坂教育長： ありがとうございます。
 以上を持ちまして本日の定例教育委員会を終了とします。

11時20分 終了